

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人福岡工業大学

## (2) 大学名

福岡工業大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒811-0295

福岡県福岡市東区和白東三丁目30番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオタニ タダヒコ) 大谷 忠彦 (令和3年3月)		
学長	(ムラヤマ リイチ) 村山 理一 (令和5年4月)		
学部長	(フジオカ ヒロユキ) 藤岡 寛之 (令和5年4月)		
学科長等	(タジマ タクヤ) 田嶋 拓也 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報工学部 情報マネジメント学科 学士(情報工学)	工学関係	4年	90人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	360人	-	基礎となる学科 情報工学部 システムマネジメント学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	90人	人	-	1.14倍	1.14倍	
志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	891	( )				
受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	857	( )				
合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	501	( )				
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	103	( )				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.14	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)  
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)  
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	0 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報工学部 情報マネジメント学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コア科目	キャリア・デザイン	1前	2									兼2
	コミュニケーション・デザイン	1後	2									兼2
	ウェルネス基礎	1後	2									兼3
	Freshman English A	1前	2									兼3
	Advanced English A	1前	2									兼3
	Freshman English B	1後	2									兼3
	Advanced English B	1後	2									兼3
	Essential English A	2前	2									兼3
	Communicative English A	2前	2									兼1
	Essential English B	2後	2									兼3
	Communicative English B	2後	2									兼2
小計(11科目)	—	6	16	0	0	0	0	0	0	0	0	兼15
教養力育成科目	AIデータサイエンス基礎	1前・後	2									兼1
	生命と生態系	1前・後	2									兼1
	化学と生活	1前・後	2									兼1
	科学史	1前・後	2									兼1
	産業デザイン	2前・後	2									兼1
	地域創生論	1前・後	2									兼1
	市民生活と法	1前・後	2									兼1
	日本国憲法	1前・後	2									兼1
	心理学	1前・後	2									兼2
	文学	1前・後	2									兼1
	現代倫理	1前・後	2									兼1
	経済学	1前・後	2									兼1
	社会学	1前・後	2									兼2
	九州学	1前・後	2									兼1
	異文化理解	1前・後	2									兼2
	中国の文化と言葉	2前・後	2									兼1
	韓国の文化と言葉	2前・後	2									兼1
	ウェルネス応用	2前・後	2									兼3
	地域創生PBL	1前・後	2									兼2
	日本語実践	2前・後	2									兼1
	仕事理解型インターンシップ	2前・後	2									兼1
	課題解決型インターンシップ	2前・後	2									兼1
	海外研修	1前・後	2									兼2
小計(23科目)	—	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	兼22
基礎科目	基礎数学 I	1前	3			1	1					
	基礎数学 II	1後	3			1	1					
	物理学 I	1前	2									兼1
	物理学 II	1後	2									兼1
	統計学への誘い	1後	2			2						
	解析学	1後	2				1					
	情報マネジメント基礎演習 I	1前	2			2	1		1			共同
	情報マネジメント基礎演習 II	1後	2			2	2					共同
	線形代数	2前	2									兼1
	微分方程式	2前	2				1					
小計(10科目)	—	12	10	0	5	3	0	1	0	0	0	兼2
専門教育科目	経営システム論	1前	2			1						
	情報リテラシー	1前	2				1		1			共同
	インダストリアル・エンジニアリング	1後	2			1						
	プログラミング入門	1後	2			1			1			共同
	データベース	1後	2			1						
	情報マネジメントゼミナール	2通	2			6	6		2			共同
	オペレーションズ・リサーチ I	2前	2			1						
	経営管理論	2前	2				1					
	社会調査のためのデータサイエンス	2前	2			1						
	プログラミング I	2前	2			1			1			共同
	データ構造とアルゴリズム	2前	2			1						
	グローバルデジタル概論	2前	2			1						
	情報マネジメント実践演習	2通	4			2	3		1			共同
	オペレーションズ・リサーチ II	2後	2				1					
生産管理論	2後	2				1						
数理モデリング	2後	2			1							

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コア科目	キャリア・デザイン	1前	2									兼2
	コミュニケーション・デザイン	1後	2									兼2
	ウェルネス基礎	1後	2									兼3
	Freshman English A	1前	2									兼3
	Advanced English A	1前	2									兼3
	Freshman English B	1後	2									兼3
	Advanced English B	1後	2									兼3
	Essential English A	2前	2									兼3
	Communicative English A	2前	2									兼1
	Essential English B	2後	2									兼3
	Communicative English B	2後	2									兼2
小計(11科目)	—	6	16	0	0	0	0	0	0	0	0	兼15
教養力育成科目	AIデータサイエンス基礎	1前・後	2									兼1
	生命と生態系	1前・後	2									兼1
	化学と生活	1前・後	2									兼1
	科学史	1前・後	2									兼1
	産業デザイン	2前・後	2									兼1
	地域創生論	1前・後	2									兼1
	市民生活と法	1前・後	2									兼1
	日本国憲法	1前・後	2									兼1
	心理学	1前・後	2									兼2
	文学	1前・後	2									兼1
	現代倫理	1前・後	2									兼1
	経済学	1前・後	2									兼1
	社会学	1前・後	2									兼2
	九州学	1前・後	2									兼1
	異文化理解	1前・後	2									兼2
	中国の文化と言葉	2前・後	2									兼1
	韓国の文化と言葉	2前・後	2									兼1
	ウェルネス応用	2前・後	2									兼3
	地域創生PBL	1前・後	2									兼2
	日本語実践	2前・後	2									兼1
	仕事理解型インターンシップ	2前・後	2									兼1
	課題解決型インターンシップ	2前・後	2									兼1
	海外研修	1前・後	2									兼2
小計(23科目)	—	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	兼22
基礎科目	基礎数学 I	1前	3			1	1					
	基礎数学 II	1後	3			1	1					
	物理学 I	1前	2									兼1
	物理学 II	1後	2									兼1
	統計学への誘い	1後	2			2						
	解析学	1後	2				1					
	情報マネジメント基礎演習 I	1前	2			2	1		1			共同
	情報マネジメント基礎演習 II	1後	2			2	2					共同
	線形代数	2前	2									兼1
	微分方程式	2前	2				1					
小計(10科目)	—	12	10	0	5	3	0	1	0	0	0	兼2
専門教育科目	経営システム論	1前	2			1						
	情報リテラシー	1前	2				1		1			共同
	インダストリアル・エンジニアリング	1後	2			1						
	プログラミング入門	1後	2			1			1			共同
	データベース	1後	2			1						
	情報マネジメントゼミナール	2通	4			7	5		2			共同
	オペレーションズ・リサーチ I	2前	2			1						
	経営管理論	2前	2				1					
	社会調査のためのデータサイエンス	2前	2			1						
	プログラミング I	2前	2			1			1			共同
	データ構造とアルゴリズム	2前	2			1						
	グローバルデジタル概論	2前	2			1						
	情報マネジメント実践演習	2通	4			3	2		1			共同
	オペレーションズ・リサーチ II	2後	2				1					
生産管理論	2後	2				1						
数理モデリング	2後	2			1							

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	情報数理入門	2後	2			1						
	離散数学 I	2後	2								兼1	
	離散数学 II	3前	2								兼1	
	情報マネジメントプロジェクト演習	3通	4			6	5		2		共同	
小計(20科目)	—	38	6	0	6	6	0	2	0		兼1	
専門教育科目	コンピュータ基礎学	1前	2			1						
	WEBデザイン	1前	2					1				
	工業心理学	2前	2			1						
	経営計算論	2前	2			1						兼1
	情報倫理	2前	2									兼1
	メディア科学 I	2後	2			1						兼1
	人間工学	2後	2						1			
	感性工学	2後	2							1		
	科学分析のためのデータサイエンス	2後	2			1						
	プログラミング II	2後	2						1			
	確率システム入門	2後	2				1					
	サプライチェーン・マネジメント	3前	2			1						
	マーケティング論	3前	2			1						
	信頼性工学	3前	2			1						
	ゲーム理論	3前	2			1						
	データビジュアライゼーション	3前	2						1			
	ソフトウェア開発	3前	2						1			
	知的所有権と法	3前	2								1	
	オペレーションズ・リサーチⅢ	3前	2			1						
	人工知能	3前	2			1						
	メディア科学Ⅱ	3前	2			1						
	ソフトコンピューティング	3前	2			1						
	品質管理論	3後	2				1					
	e-ビジネス論	3後	2			1						
	ベンチャービジネス論	3後	2			1						
	経営シミュレーション	3後	2			1						
	金融工学	3後	2									兼1
	応用データサイエンス	3後	2				1					
小計(28科目)	—	0	56	0	5	4	0	2	0		兼3	
関連科目	情報技術演習 I	1通	2			1						
	情報マネジメント海外事情	2・3通	2			1	1					
	情報技術演習 II	3通	2			1						
	AIデータサイエンス実践	3前	1			1						
小計(4科目)	—	0	7	0	2	1						
卒業研究	4通	6			6	6		2			共同	
小計(1科目)	—	6	0		6	6	0	2	0			
合計(97科目)	—	62	141	0	6	6	0	2	0		兼36	
卒業要件及び履修方法												
教養力育成科目から24単位以上(コア科目:14単位、展開科目:10単位以上)、専門教育科目から84単位以上、教養力育成科目及び専門教育科目から16単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	情報数理入門	2後	2			1						
	離散数学 I	2後	2								兼1	
	離散数学 II	3前	2								兼1	
	情報マネジメントプロジェクト演習	3通	4			7	6		2		共同	
小計(20科目)	—	40	6	0	7	5	0	2	0		兼1	
専門教育科目	コンピュータ基礎学	1前	2			1						
	WEBデザイン	1前	2					1				
	工業心理学	2前	2			1						
	経営計算論	2前	2			1						兼1
	情報倫理	2前	2									兼1
	メディア科学 I	2後	2			1						兼1
	人間工学	2後	2						1			
	感性工学	2後	2							1		
	科学分析のためのデータサイエンス	2後	2			1						
	プログラミング II	2後	2						1			
	確率システム入門	2後	2				1					
	サプライチェーン・マネジメント	3前	2			1						
	マーケティング論	3前	2			1						
	信頼性工学	3前	2			1						
	ゲーム理論	3前	2			1						
	データビジュアライゼーション	3前	2						1			
	ソフトウェア開発	3前	2						1			
	知的所有権と法	3前	2								1	
	オペレーションズ・リサーチⅢ	3前	2			1						
	人工知能	3前	2			1						
	メディア科学Ⅱ	3前	2			1						
	ソフトコンピューティング	3前	2			1						
	品質管理論	3後	2				1					
	e-ビジネス論	3後	2			1						
	ベンチャービジネス論	3後	2			1						
	経営シミュレーション	3後	2			1						
	金融工学	3後	2									兼1
	応用データサイエンス	3後	2				1					
小計(28科目)	—	0	56	0	5	4	0	2	0		兼3	
関連科目	情報技術演習 I	1通	2			1						
	情報マネジメント海外事情	2・3通	2			1	1					
	情報技術演習 II	3通	2			1						
	AIデータサイエンス実践	3前	1			1						
小計(4科目)	—	0	7	0	2	1						
卒業研究	4通	6			7	5		2			共同	
小計(1科目)	—	6	0		7	5	0	2	0			
合計(97科目)	—	64	141	0	7	5	0	2	0		兼36	
卒業要件及び履修方法												
教養力育成科目から24単位以上(コア科目:14単位、展開科目:10単位以上)、専門教育科目から84単位以上、教養力育成科目及び専門教育科目から16単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和2年度】→【令和1年度】→【令和0年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】
- (1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・ 3省合意による『インターンシップ』の定義変更により、「仕事理解型インターンシップ」の名称を「仕事理解型実習」に変更。
- ・ 教育内容の充実のため、「情報マネジメントゼミナール」の科目単位数を「2単位」から「4単位」に変更。
- ・ R6年4月1日付け教員昇格人事により、専任教員1名の配置を「准教授」から「教授」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	71 科目	0 科目	97 科目	26 科目 [ 0 ]	71 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	97 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	福岡工業大学短期大学部との共用		
	校舎敷地	-㎡	80,135㎡	-㎡	80,135㎡			
	運動場用地	-㎡	90,232㎡	-㎡	90,232㎡			
	小 計	-㎡	170,367㎡	-㎡	170,367㎡			
	そ の 他	-㎡	8,150㎡	-㎡	8,150㎡			
	合 計	-㎡	178,517㎡	-㎡	178,517㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	福岡工業大学短期大学部との共用			
	37,078㎡ (37,078㎡)	40,837㎡ (40,837㎡)	3,819㎡ (3,819㎡)	81,734㎡ (81,734㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教育研究充実のため (6)		
	76 75室	34 33室	177 176室	10室 (補助職員6人)	0室 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	情報マネジメント学科			14 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]				
情報マネジメント学科	349,500 [69,175] (340,500 [68,725])	2,100 [900] (1,800 [800])	900 [780] (780 [700])	4,400 (4,000)	1,042 (1,042)	0 (0)		
計	349,500 [69,175] (340,500 [68,725])	2,100 [900] (1,800 [800])	900 [780] (780 [700])	4,400 (4,000)	1,042 (1,042)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	4,422㎡		534		350,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	5,471㎡		野球場1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書購入費には、電子ジャーナル、データベース等の経費含む
		教員1人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	7,190千円	7,190千円	
	共 同 研 究 費 等	9,500千円	9,500千円	設備購入費	25,000千円	25,000千円	25,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,570千円	1,370千円	1,370千円	1,370千円	-千円	-千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福岡工業大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	5
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
工学部	4	380	-	1,520	-	1.15	0.98	-	-	-				
電子情報工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	0.91	-	昭和38	福岡県福岡市東区和白東三丁目30番1号	令和6年度より学生募集停止			
生命環境化学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.15	1.01	-	平成17	同上				
知能機械工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.15	1.02	-	昭和40	同上				
電気工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.19	0.98	-	昭和41	同上				
情報工学部	4	400	-	1,525	-	1.15	1.07	-	-	-				
情報工学科	4	130	-	520	学士(情報工学)	1.13	1.07	-	平成9	福岡県福岡市東区和白東三丁目30番1号				
情報通信工学科	4	90	-	360	学士(情報工学)	1.17	1.05	-	平成9	同上				
情報システム工学科	4	90	-	360	学士(情報工学)	1.13	1.07	-	平成9	同上				
システムマネジメント学科	4	65	-	195	学士(情報工学)	1.17	1.07	-	平成9	同上				
情報マネジメント学科	4	90	-	90	学士(情報工学)	1.14	1.14	-	令和6	同上				
社会環境学部	4	160	3年次30	700	-	1.03	0.96	-	-	-				
社会環境学科	4	160	3年次30	700	学士(社会環境学)	1.03	0.96	-	平成13	福岡県福岡市東区和白東三丁目30番1号				
大学全体	4	940	3年次30	3,745	-	-	-	-	-	-				

大学の名称	福岡工業大学 短期大学部										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
情報メディア学科	2	160	-	320	短期大学士(情報工学)	1.02	-	-	平成7	福岡県福岡市東区和白東三丁目30番1号				
大学全体	2	160	-	320	-	-	-	-	-	-				

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	6	0	2	14	-	7	5	0	2	14	-
(6)	(6)	(0)	(2)	(14)	-						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	5	0	2	14	-	7	5	0	2	14	-
[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{14} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和5年)	工学部知能機械工学科の収容定員超過の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	令和6年5月1日付の収容定員充足率（控除後）において、1.02倍となっており改善することができた。 ※厳格な成績管理等に係る取組の概要、公表方法を添付（別添資料1）。	履行済
届 出 時 (令和5年)	情報工学部情報通信工学科の収容定員超過の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	令和6年5月1日付の収容定員充足率（控除後）において、1.05倍となっており改善することができた。 ※厳格な成績管理等に係る取組の概要、公表方法を添付（別添資料1）。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
    - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
    - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<情報工学部 情報マネジメント学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

本学では授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組みについて、「福岡工業大学教育開発推進機構規程」を制定し、当該規程に基づく専任教員及び職員で構成される「教育開発推進会議」を設置し、授業方法の開発と改善を図るための計画の立案と実施の推進を図ることとしている（別添資料2）。

SDに関しては、管理運営に必要な教職員への研修等の取組みとして、「SD体系図」を制定・共有するとともに①人材育成（キャリア）に資する研修、②目的別研修、③自己啓発支援を柱とした研修体系に整備・運用している。SDの対象には教員も含まれることから、全教職員に共通するハラスメント防止や大学教育DX推進などのテーマでの集合研修を実施している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教育開発推進会議は、議題を精査の上で、年に6回開催。構成委員となる専任教員及び職員は毎回出席している。

##### c 委員会の審議事項等

- ・カリキュラム等の教育の質保証及び質向上に関すること
- ・学修成果の可視化および教育・学修に関するデータの収集・分析（教学IR）に関すること
- ・教育手法の開発及び検証に関すること
- ・全学的なFDの企画実施及び学部等におけるFD活動の支援に関すること
- ・教育の改善に取り組んだ教職員に対する評価・顕彰に関すること
- ・本学の教育改革の方針に係る企画立案及びその実施に関すること
- ・分野・学部等を横断する教育プログラムの開発及び実施に関すること
- ・大学院教育と学部教育の連携に関すること
- ・教育に関する競争的資金獲得に関すること
- ・教育に関する学内公募型プロジェクト（特別予算）の企画及び審査に関すること
- ・他の大学又は社会との教育連携事業に関すること
- ・その他、本学における教育の質保証、教育能力の開発及び向上、教育プログラムの開発及びその支援の取組を実施し、新たな教育改革・改善活動等を推進するために必要な事項に関すること

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

###### 【教育開発推進会議】

- ・全学的なFD研修会、勉強会等の企画・実施
- ・FD Annual Reportの編集・発刊
- ・各学部によるFD活動報告を始めとした情報共有
- ・教育手法の開発及び検証の実施

###### 【上記の他、大学として行っているSD活動の内容】

- ・教職員対象SD研修会

b 実施方法                      c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 全学的なFD研修会、勉強会等の企画・実施
  - ・ 新任教員FD研修会（着任教員対象）【R5年4月 教職員15名参加】
  - ・ 新任教員フォローアップ研修（着任後5年以内の教員対象）【R5年9月 教職員22名参加】
  - ・ FD Café① 分野横断の学びが学生にもたらずもの（全教職員）【R5年6月 教職員69名参加】
  - ・ FD Café② 高等教育に関する今日的課題について（全教職員）【R5年8月 教職員53名参加】
  - ・ FD Café③ ICTを活用した授業事例の共有（全教職員）【R5年9月 教職員30名参加】
  - ・ FD Café④ FIT-join 学生・教職員意見交換会（全教職員、FIT-join）【R5年9月 学生21名・教職員21名参加】
  - ・ FD Café⑤ 学生の主体的な学びを促す働きかけについて（全教職員）【R5年12月 学生10名・教職員19名参加】
  - ・ 教学マネジメント委員テーマ別意見交換会（各学部長、教養力育成センター長、研究科長、教学マネジメント委員）【R5年10月 教職員21名参加】
2. FD Annual Reportの編集・発刊  
令和5年度における教育改善の実践報告や学部等のFD部会の取組等を掲載予定で、令和6年7月に発刊を予定している。
3. 各学部によるFD活動報告を始めとした情報共有  
各学部でFDの取組み状況の調査・報告を実施。
4. 教育手法の開発及び検証の実施  
授業改善に資する教育手法の開発と実践等についての検証を実施。
5. 教職員対象SD研修会
  - ・ 目的別研修 キャリアビジョン研修、管理職講師による研修 職位階層別（全職員）【R5年10月・12月開催】
  - ・ 目的別研修 ハラスメント研修、ハラスメントeラーニング（全教職員）【R5年4月・10月開催】
  - ・ 目的別研修 コンプライアンス、情報セキュリティ研修（全教職員）【R5年オンデマンド開催】
  - ・ 人材育成・キャリアに資する研修 管理職研修、特定職員研修（職員）【R5年6月・7月開催】
  - ・ 海外研修（職員）【R5年8・9月開催】

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

事務局に教育開発推進室を設置しており、実施結果を踏まえた学内におけるFD研修会の実施・運営を行っている。FD研修会では、新学科の設置後における授業手法等について、学科全体でのスキームを構築するなど、授業改善につながるような取り組みを実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生による授業評価アンケートは毎年各学期末（7月、1月上旬）に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は授業期間内に、学生からのアンケート結果に対して、myFIT（本学学修支援システム）上からコメントを返し、全15回の講義終了後には学生に対するフィードバックを実施している。またシラバス内には各講義を昨年受講した学生のコメントを公開している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成にむけて、開設初年度は、組織的な学生募集により当初計画通りの入学者選抜試験を実施し、入学定員90人に対して、入学者103人を受け入れた。また、設置の趣旨に掲げた教育研究上の目的を達成するため、設置計画に基づく授業科目（教養力育成科目34科目、専門教育科目63科目）を開講するとともに、当該科目を担当する教員（専任教員14人、兼任教員14人、兼任教員22人）の採用及び発令を行った。  
施設設備の整備計画は、教育に必要となる主要な教室等（講義室76室、演習室34室、実験実習室177室、情報処理学習施設10室）を当初計画より多く整備した（講義室、演習室、実験実習室にて各1室追加）。  
図書等（専門図書349,500冊、視聴覚資料4,400点）についても、設置計画に基づく整備を行った。  
管理運営については、教授会をはじめとする各種委員会等、教学面における管理運営体制の下、教育研究活動の水準の一層の向上に努めている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和6年8月1日 公表予定

###### b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開予定（令和6年8月を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和元年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けた。

・次回は令和8年度に受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [ 有 ・ 無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。